

体験 海のスポーツ



香北B & G海洋センター

8月3日、香北B & G海洋センター（香北町吉野）で、市内の小学生17名がプールに浮かべたヨットやカヤック乗りを体験しました。

この催しは、海に面しない香美市の児童が海洋スポーツを体験するために行われ、体験した小学生は「初めてのことで怖かったけど、実際にやってみると怖さより楽しさが倍でした。海でやるときも行きたいです」と満足そうでした。

同17日、このうち13名が、香南市マリンスポーツセンター（香南市夜須）の海辺でポートやヨットを体験し、海のスポーツを楽しみました。



▲実際に海でポート体験

繁藤地区大川まつり



8月13日、第116回繁藤地区大川まつりが、繁藤小中学校グラウンドで開催されました。

この祭りは、明治29年に甫喜ヶ峰疎水の工事が始まった際に、工事の安全を祈願して川原で奉納相撲を行って以来、継承されており、100年を超える歴史があります。現在は水難事故防止、水との親しみ、地域の振興・親睦、他地域との交流を目的に行われています。

祭りでは山田太鼓伝承会・豆電球の演奏やもち投げ、カラオケ大会などが行われ、来場者からは「昔は灯ろう流しなども行われ、大勢の人出で、にぎわったものです。山あいに多くの人が集まるのも楽しいものです」と話していました。

楠目スポーツ少年団3位



第6回香美市少年野球大会が8月13日・14日の2日間、土佐山田スタジアムなどで開催され、県内16チーム（市内4チーム）が参加し、熱戦が繰り広げられる中、楠目スポーツ少年団が、3位入賞を果たしました。

優勝	嶺北ジュニア	（土佐町）
準優勝	野市東部ライオンズ	（香南市）
3位	楠目スポーツ少年団	（香美市）
3位	桜ヶ丘スポーツ少年団	（香南市）



遠くまで飛んでけ～

8月9日、楠目小学校で、小学生を対象にした工作教室が開催され約60人の児童が参加しました。

この工作教室は、香美市からの寄付により設立された香美市奨学金制度を受けている高知工科大学航空研究会と電鋭創造工作車輻部隊（電気自動車部）で活動する学生ら15名により行われ、スチレントレーを再利用して、ゴム飛行機作りを楽しみました。



金婚を迎えられたご夫婦

■香北町

五百蔵 正典・和味
大西 教稔・良恵
笹岡 一道・英子
間崎 文雄・正子

■土佐山田町

五百蔵 透・節子
鍵山 多慶夫・芙美
近森 成一郎・久子
西内 勇・壽美子
西村 芳成・道子
東山 和男・満子
平野 直・市子
前田 長英・廣子
南 英一郎・豊子
宮地 盾騎・敦子
森田 貞男・純子
森本 一夫・健代
山崎 榮幸・詩野歩
吉川 信義・博子
吉田 榮・好子
吉永 勇・満子

■物部町

新谷 和男・清位
（敬称略・五十音順）



結婚して50周年の金婚夫婦を祝福する第54回金婚夫婦祝福式（高知新聞社主催）が9月1日、県内5会場で開催され、約700組が祝福されました。

今年金婚を迎えたのは、昭和36年1月1日から同年12月31日までに婚姻届を出されたご夫婦です。香美市からはグレース浜すし（南国市）で開催された式典に20組のご夫婦が出席し、祝福されました。

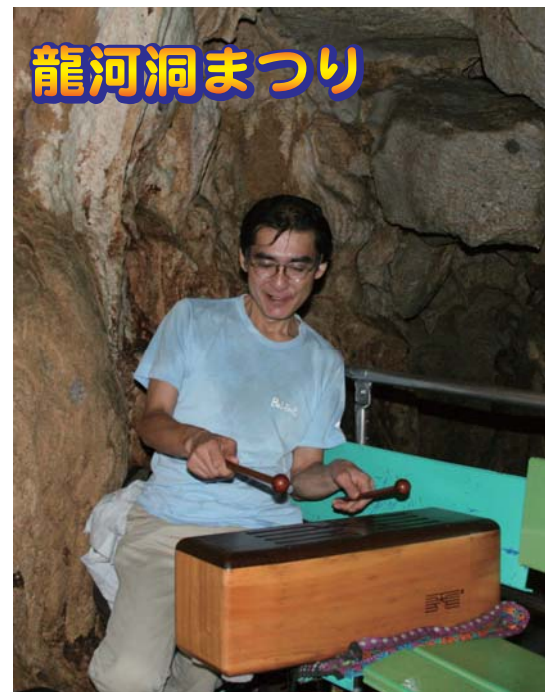
式典では、この50年をつづったビデオが上映され、出席したご夫婦は、苦楽を共に過ごした日々を思い起こしながら、感慨深げに鑑賞されていました。

代表謝辞を述べられた西村芳成さん・道子さんご夫婦は50年の夫婦生活を振り返り、「終戦後の厳しい社会情勢の中、家庭を築き、喜びも悲しみも共に、郷土のためにがんばってきた半世紀でした。二人で歩んだこの年月の重みを今、改めてかみしめています」と話されました。



▲謝辞 西村さんご夫婦

龍河洞まつり



▲洞内での演奏(雨ンBOW)

8月27日、龍河洞で第11回龍河洞まつりが開催されました。会場では開洞80周年を記念して、もち投げが行われ、土佐の食1グランプリでベスト3になったシカドッグ・西島トマトカレー・にら塩やきそばなどの出店も並びました。洞内では、山田太鼓伝承会をはじめとする3グループによる演奏が行われ、今回初参加の香美市のアカペラグループミントグリーンプレスは、美しいハーモニーを洞内に響かせていました。また、スリットドラムを演奏した雨ンBOWの田崎一郎さん（高知市長浜）は「洞内に音が響き、2秒くらい続く残音が素晴らしい」と話していました。

この日の入洞者数は1,549人で、夕方には洞内の照明をおとして、ちょうちんを持って入洞する暗やみ体験ツアー（無料）が行われ、親子やカップル352人が参加しました。

祭りのフィナーレに行われた打ち上げ花火は、大きな音を山間にこだませ、会場の真上に打ち上げられた大輪に観客からは大きな拍手が送られました。



シカドッグ